



尾花澤祭 往時を偲ぶ郷土芸術

祭山車模型(実物十分の二修復に参加して)

宮大工 山口 忠博さん(市野々)

往時、尾花沢本町地区においては、各地区、競って山車を仕組み、七月二十七日(月遅れ)諏訪神社祭典の日、町内を巡り廻ったと記されている。何と高さ四十四尺(十一メートル)の山車の原型が残っていた。各集落の若者により、浴道いっばい賑やかに繰り出され盛大に挙行された歴史があった。豊作を祈り願う伝統行事であり、祭礼は現在に至っている。昭和五年電線が町中に張り巡らされ巡行不能となり、諏訪神社境内に祭山車が飾られた。昭和九年で最後となり、かつて東北三大山車ともうたわれたと地区の古老はいう。

訪神社奉拝殿に奉納安置されていたが手狭なため尾花沢小学校改築に伴い校長室にうつされ、伝統文化の教育資料として活用されてきました。しかしながら、制作されて八十有余年、傷みが進み修復保存を願っていた。

今般、新元号となる年、さらには市制施行六十年新しい庁舎の誕生となる記念すべき年にあたり、伝統文化を後世へ伝える物として何とか修理、復元できないものかと思いを託され作業に着手したところです。

修復に際し指物大工・塗り・金箔・金具・人形等それぞれその修理の職種も必要とされ、山形仏壇伝統工芸士会に協力を依頼いたしました。

した。平成三十年十二月二十六日校長室での解体作業に取り掛かる。天井いっばいのガラスケースを見て、こんな大きな物よく入れたものだと感じながら、中の人形・宮殿・飾り物・彫り物は養生しながら小分けし丁寧に解体し山形まで運びました。作業のなかで、部材の欠落などもあり難儀したのが今思い出されます。伝統工芸士の技の粋を結集し完成の日を迎えました。

ガラスケース内に見える題目「風流小楠公出陣の場」とは、今より、六百七十一年前、大楠公・楠木正成の息子楠木正行が



昭和9年の祭山車

吉野での後村上天皇に拝謁し忠義を賞き、参戦出陣の場面を表したものであり正平二年(一三四七年)の歴史絵巻であります。八十年前に造ってくれた物として尾花沢には優れた工芸士達が揃っていたものと思われまます。

最後に、この作料に際し、多くの祭関係者の助言を賜り、趣旨丹精、回向に回向を重ねた修復作業、往時を偲んだ郷土芸術文化を忠実にできました事厚く御礼申し上げます。この修理修復は、奥山てふ様からの寄付金により行われました。

真新しい庁舎と尾花沢市制施行六十周年・尾花沢市民・益々の称栄を祈念し、私に与えられた任を結び御礼を申し上げます。

助言協力者

- 諏訪神社 大高 正史様
- 尾花沢祭ばやし保存会 鈴木 勲様
- 芭蕉清風歴史資料館
- 山形県仏壇商工業協同組合伝統工芸士会
- 尾花沢小学校

お詫びと訂正

議会だより102号を次のとおり訂正しお詫びいたします。

P.24 人のうごき
鈴木治を鈴木浩に

発行責任者

- 議長 大類 好彦
- 市議会だより編集委員 委員長 小関 英子
- 副委員長 鈴木 裕雅
- 委員 青野 隆一
- 委員 塩原未知子
- 委員 伊藤 浩

発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

おばなざわ 市議会だより

102号

令和元年9月1日発行

6月定例会

- 6月定例会……………2
- 8月臨時会・議会人事……………4
- 一般質問……………6
- 私のひとこと……………16

市役所2階に展示の祭山車模型

風流小楠公出陣の場



～新庁舎と共に新たなスタート～

祝 尾花沢市新庁舎開庁

令和元年度予算

一般
会計

6,095万円を追加補正



定例会のあらまし

令和元年6月定例会は5月30日から6月7日まで開催され、平成30年度補正予算3件、令和元年度補正予算3件、条例の一部改正6件、ロータリ除雪車2台・災害対応特殊救急自動車1台の契約の締結について慎重に審議した結果、原案通りに可決しました。

主な補正予算(令和元年度)

コミュニティ助成事業補助金	140万円
プレミアム付商品券事業補助金	1,480万円
幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修	810万円
一般地区浄化槽設置整備事業補助金	361万円
市元気な農業支援事業補助金	606万円
宝栄牧場管理棟修繕費	430万円
中山間地域等直接支払交付金	858万円
路線バス備品修繕費	100万円



ロータリ除雪車1.5m級 購入
契約金額 2,728万円

ロータリ除雪車2.2m級 購入
契約金額 4,312万円(写真)



災害対応特殊救急自動車 購入
契約金額 4,245万円

公約を
胸に

市民の代表として奮闘します!

◎は委員長 ○は副委員長

総務文教常任委員会



◎小関英子 ○鈴木裕雅 青野隆一 鈴木 清 星川 薫 和田 哲 菅野喜昭

産業厚生常任委員会



◎奥山 格 ○安井一義 菅野修一 大類好彦 塩原未知子 伊藤 浩 鈴木由美子

議会運営委員会	◎青野 隆一 ○星川 薫 菅野 修一 塩原未知子 鈴木 清 和田 哲	
尾花沢市 都市計画審議会委員	塩原未知子 星川 薫 和田 哲 安井 一義 鈴木由美子	
議会だより編集委員会	◎鈴木 清 ○和田 哲 塩原未知子 伊藤 浩 菅野 喜昭 安井 一義 鈴木由美子	
広域 組合 議会	尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合 議会議員	菅野 修一 青野 隆一 小関 英子 鈴木 清 菅野 喜昭
	北村山広域行政事務 組合議会議員	塩原未知子 星川 薫 和田 哲
	北村山公立病院組合 議会議員	大類 好彦 奥山 格 (監査委員) (議運委員)

<会派の構成>

令和クラブ (5人)	代表 菅野 修一 大類 好彦 星川 薫 菅野 喜昭 安井 一義
市政クラブ (4人)	代表 青野 隆一 奥山 格 和田 哲 鈴木由美子
会派に属さない議員 (5人)	代表 伊藤 浩 小関 英子 塩原未知子 鈴木 裕雅 鈴木 清

一般会計補正予算	
〈農林水産業費〉	
強い農業・担い手づくり総合交付金事業費補助金	144万円
元気な農業経営による所得1.3倍プロジェクト事業費補助金	889万円
産地パワーアップ事業費補助金	334万円
〈商工費〉	
銀山温泉家並保存整備事業費補助金	200万円
合計	1,567万円

8月5日臨時会を開き、正副議長選挙を行い、議長に大類好彦議員、副議長に伊藤浩議員を選出。
一般会計補正予算千568万2千円を追加し、総額を15億千167万1千円とし、他に小学校児童用パソコン更新事業契約の締結、市監査委員に小林秀也氏(若葉町)を選任する人事案件を含む

臨時会のあらまし

4議案を審議し、原案通り可決した。

小学校児童用パソコン更新事業

問 パソコン購入金額の中には今後のサポート費用は入っているのか。また、各学校のネットワーク環境整備はどうするのか。
(塩原未知子)

答 ウインドウズ7サポート終了にともなう購入で、今回だけの更新契約となっている。各学校とも同様にネットワークはWi-Fiを完備していく。

問 パソコン105台購入で十分なのか。学校現場でどのように活用するのか。遠隔授業は可能か。
(青野隆一)

答 児童全員分ではなく、1学校1クラス分で5校分となる。遠隔授業はできないが、夏休み期間を利用し、全学校にWi-Fiを取り付けていきたい。

議会人事決まる

議長



議長
大類好彦

この度、議長に就任いたしました大類です。宜しくお願ひいたします。
「打てば響くまちづくり」をキャッチフレーズに、皆様の声をすぐ市に問い合わせ、返事を返す事をモットーに、3期9年間議員活動をしてきました。
また皆さまご承知の通り、おばなざわ花笠まつりに長年かかわってきました。祭囃子

副議長



副議長
伊藤 浩

副議長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。微力ではありますが、市民の皆様方からより信頼される議会を目指し、議長を補佐しながら

保存会の太鼓や篠笛の指導、北村山高校の花笠踊りの指導、花笠大鼓の演奏・指導など行ってまいりました。祭りごと・祀りごと・政・奉りごと、全部マツリゴトと読むようです。神社とお寺は、昔から政治に係わっていたことから政治と祭りごと、同じ音になったと言ふ説もあるようです。祭りが活発になることが、尾花沢市の活性化になると思いますが、郷土の文化に誇りを持つことが、人口減少に歯止めをかけることにつながると考えます。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

努力して参りたいと思っております。
市議会の役目は、行政監視機能と同時に、将来を見据えた行政の在り方について、立案機能を果たしていく事ではないかと考えております。
人口減少が全国的な課題となっておりますが、その中でも市民の皆様が住み良い街づくりを目指して頑張りたいと思っておりますので、よろしくご指導をお願いいたします。

公立保育園と私立保育園の位置づけは？

市長…今年度中に方向性を示したい



伊藤 浩 議員

問 今年度の一般会計予算を人口一人当たりになると、約70万円となり、県内13市の中では、一番大きい額となっている。市長は、この背景をどう捉えているのか。

答 自治体規模が小さくなる、1人当たりの予算規模は大きくなる傾向がある。また、子育て支援や人口減少対策、新庁舎建設や防災行政無線整備事業、除排雪経費など投資的経費を増やす中で、市民一人ひとりに細やかなサービスをを行っているためと考えている。

問 歳入における市税の割合は14・7%と他

市に比べ低くなっているが、今後、歳入率を上げるためにどのような政策が重要と考えているのか。

答 市税収入につながる納税者数は人口減少に比例し、今後大幅な税収の伸びは厳しい状況であると認識している。そんな中でも、定住促進支援の充実、地元企業が新たな雇用創出を生み出せるための支援。基幹産業の農業については、今年度から「元気な農業経営による所得1.3倍プロジェクト事業」を進め、農業所得の向上に向けた支援を行う。市税収入は自主財源の大きなウエイトを占め、市民サービス向上のため重要なので、今後とも市民所得の向上につながる政策を進

問 学校統合と保育園

尾花沢小学校の新築計画について、学園構想の中で今後どのように進めていくのか。また、遅くともいつごろまでの完成を見込んでいくのか。

答 尾花沢小学校の新築計画について、学園構想の中で今後どのように進めていくのか。また、遅くともいつごろまでの完成を見込んでいくのか。

問 鳥獣被害対策

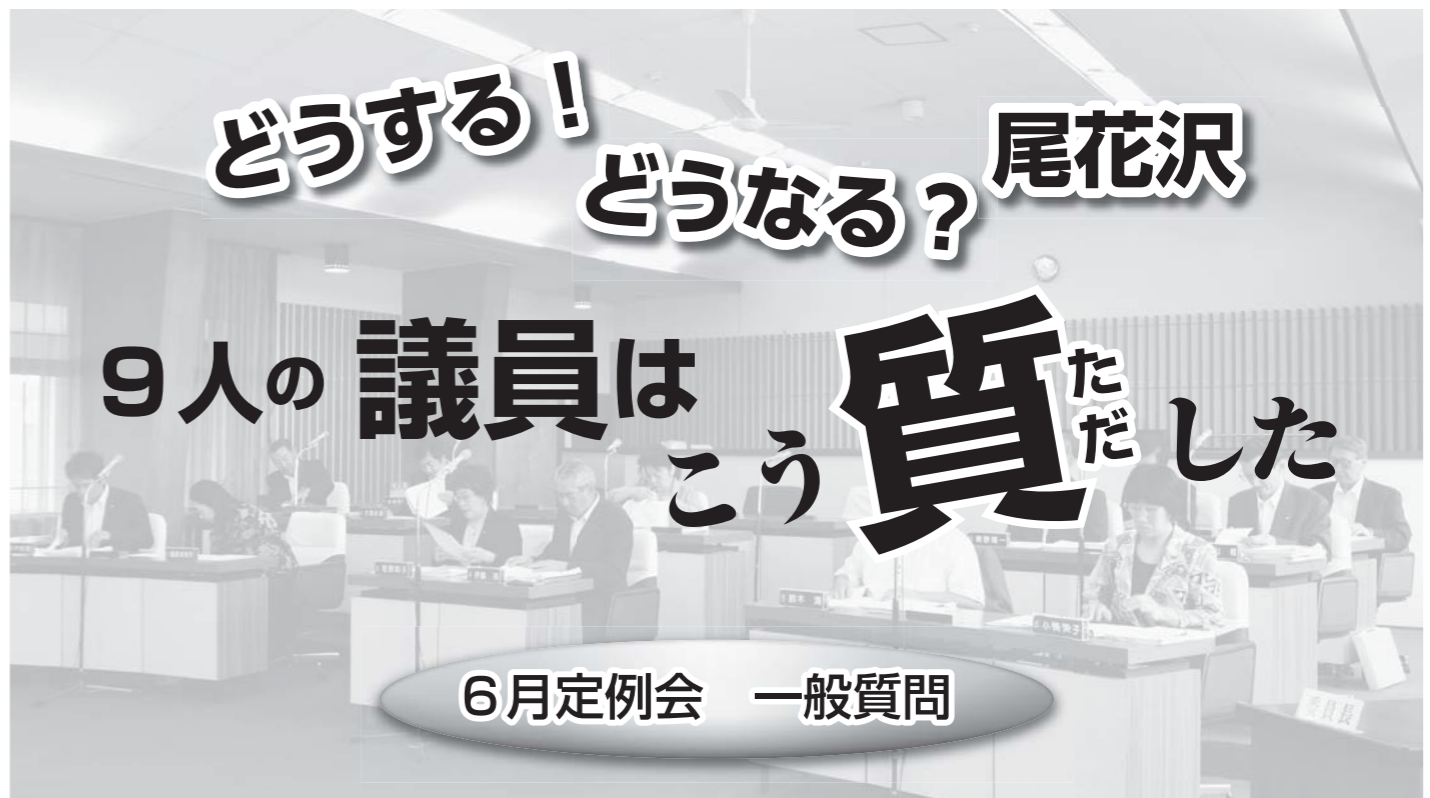
鳥獣被害の現状がしっかりと把握されていない。的確な対策を進めるためにも、再度アンケート調査を実施すべきではないか。

答 鳥獣被害の現状がしっかりと把握されていない。的確な対策を進めるためにも、再度アンケート調査を実施すべきではないか。

問 少子化が急速に進む中で、公立保育園と私立保育園をどのよう位置づけていくべきと考えているのか。

答 少子化が進む中、保育園と学校は同じ盆の中です。位置づけをしっかりと!!

平成29年に実施したアンケートでは、被害の状況を把握できなかった。実態を把握する事は一番の基本と考えるので、内容を直視して、回収率を高められるようにしたい。



○囲み数字が掲載

伊藤 浩	① 本年度の一般会計予算 ② 学校統合計画と保育園の関わりをどう進めるのか ③ 鳥獣被害対策	星川 睦子	① 債権管理条例の制定 ② 観光戦略 ③ 雪降り和牛の基準 ④ 学園構想 ⑤ 行政改革
塩原未知子	① 都市計画マスタープラン策定 ② 尾花沢市環境基本計画策定 ③ 農林業振興ビジョン ④ 令和の新時代、人口1万5千人の少子化対策	小関英子	① マイクロプラスチックごみ対策 ② 防災・減災に女性の参加を加速 ③ ペット愛護からのまちづくり ④ 前立腺がん検診の推進 ⑤ フレイル(虚弱)を防ぎ健康維持対策
青野 隆一	① 狹隘市道の改修計画 ② 尾花沢市公営住宅等長寿命化計画 ③ 押印手続きの見直し ④ 商店街活性化対策	奥山 格	① 花笠高原荘のあり方 ② 常盤地区駐在所の廃止 ③ 芭蕉来訪330周年記念事業 ④ 農産物の6次産業化 ⑤ やる気のある農業者支援事業等
和田 哲星	① 第3セクターの経営安定に向けた取り組み ② ふるさと納税と教育の関わり	加藤 克彦	① 病児・病後児保育と小児科医の誘致 ② 高齢者ふれあい交流サロンづくりと地域の健康づくり活動
星川 薫	① 放課後児童対策 ② 雪に対する市民の声に真摯に対応すべき		

『市役所は印鑑が必要』の見直しを！

市長…年度内での対応を考えたい



青野 隆一 議員

問 狭い市道の改修を急げ

緊急車両や消防車両が入れない狭い道路に対し、今後どのような改修計画を考えているのか。

答 拡幅整備の必要がないながら、改修されない狭い路線は、地域住民の同意を得られないなどの理由で未改良になっているものがある。課題が解決した路線から、道路改良に着手していきたい。

問 解決が難しい地域に絡むのは、地元と一緒に解決すべきではないか。

答 議員の皆さんからも情報提供をいただいで、一刻も早く解消したい。

問 中央診療所の移転を

老朽化した中央診療所を中心商店街に移し、市営住宅、サービス付き高齢者住宅、ミニ特老所を併設する考えはないか。

答 今後の尾花沢にとつて必要ではあるが、都市計画なども含めて、さまざまな意見を聞きながら進めていきたい。

問 押印手続きの見直しを

千葉市では、3千種類以上の申請書を見直した結果、2千種類について、署名または記名押印の選択制に改めた。新庁舎開庁を機に、市民サービスの向上と事務の簡素化を図るため、全ての申請書様式の



市民税務課 窓口

問 見直しをどうするか。

答 申請手続きの種類や件数の要否の判断作業、関係する条例・規則等の改正作業など、見直しに係る事務手続きの全体像を把握しながら検討を進めた。

問 9月頃までに見直しできないか。

答 少なくとも今年度内での対応をしていきたい。

商店街の活性化を

問 中心商店街の活性化対策として、ホームページの作成費用やチラシ広告の印刷・新聞折込料などに對し、助成制度を創設してはどうかか。

答 印刷のコーディネーターも含めて、何らかの支援策を考えたい。

問 小学校などの入学時に、商店街で使える商品券を贈呈し、子育て支援と商店街活性化を図ってはどうか。

答 商店街で買い物をする楽しみも含めて検討したい。

救急車両の入るよう
に狭隘（きょうあい）道路の改修を！



芭蕉来訪330年。本町、徳良湖の活性化を！

市長…都市計画マスタープランを令和2年度中に策定



塩原未知子 議員

問 尾小・おもだか保育園

急激な少子化が進む中、学園都市構想と本町まちなぎりが要となる新たなプラン策定に着手していかなければならない時期ではないか。

答 今年度から都市計画マスタープランを策定予定だ。「学園構想」は、周辺交通網の状況を踏まえた市街地の整備や都市施設の整備方針などを示し、北町地区の再整備計画や保育園と学校を核としたまちなぎりが学園都市構想についても検討したい。

問 環境基本計画策定

老朽化が進む焼却炉の更新が大きな課題

答 未来を考え、クリーンエネルギーをとり入れてはどうか。地元木材と自然エネルギーを活用した新庁舎も完成し、職員も積極的だ。徳良湖を中心に「雪とスイカと花笠のまち」に次ぐビジョンを再構築すべきではないか。

答 ゴミ焼却施設は、老朽化も進んでおり、年々修繕に係る費用も増えている。更新するか延命するか「こみ処理基本計画」にもとずき、環境衛生事業組合議会などで検討したい。百年先を見据えたビジョンは「雪をクリーンエネルギー」として有効利用すること。地熱、太陽光などのクリーンエネルギー利用の検討を行うこと。」としている。

森林の活用と エコエリア構想

問 森林整備に取り組み環境が整いつつあるが担い手不足や、昨年の豪雨で立木が倒れ、林道、農道が通れない状態。農業は厳しい状態、今こそエコエリア推進事業と森林を活用する振興ビジョンを策定すべきではないか。

答 農林業の担い手不足、作業員不足は顕著だ。「尾花沢市林業振興協議会」を中心に、市内の

再生可能エネルギーに関する啓蒙・啓発を図り、市民と行政が協力しながら、自然環境を未来へと守り繋いでいくことが重要だ。

徳良湖築堤100年が
若者定住のきっかけ
になれば



放課後児童対策をどう進めていくか

市長…「新・放課後子ども総合プラン」の方針を踏まえ整備に努める



星川 薫 議員

※ ALT (Assistant Language Teacherの略) 授業のお手伝いをする外国語指導助手

おばねっこが、みんな英語しゃべれたら、すげいなー



新・放課後子ども総合プラン

問 放課後児童クラブの待機児童解消のため、の取り組み状況はどうか。

答 民間施設と公共施設の活用を検討している。今後、運営先や施設所有者などの話し合いを十分に行った上で、利用児童が快適かつ安全に過ごせるような体制を構築している。

問 「新・放課後子ども総合プラン」では、一体化の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を推奨している。高学年の放課後の時間を有効に使うため、塾や退職された先生方、ALＴにご協力いただき、宿



ALT授業風景

問 題や英会話を中心とした「放課後子ども教室」を実施しているか。

答 ALＴの活用に関して調べたところ、契約面で小中学校の英語の授業に限られており、放課後児童クラブなどにおいての活用は難しい状況である。今後、子供健全育成や放課後児童クラブ運営の充実の点からも、ALＴの活用及び教職員のOBなどの活用も含めて検討課題とする。

雪に対する市民の声に真摯に対応すべきでは

問 市民の声として、流雪溝整備、間口除雪の他にも縁石やガードレールの撤去、雪押し場の確保、歩道の除雪など、さまざまな要望が上がっている。これらに対する対応が遅かったり、対応してくれなかったりと、市民の不満が多く寄せられている状況にあるがどうか。

答 今後、関係地区民の意見を聞き、尾花沢警察署や県道管理者、教育委員会などの関係機関と協議・検討していく。また、ご要望の路線の除雪作業を丁寧に行い、県道や市道の幅員を確保し、冬期間の安

全確保を図っていく。

問 歩道の除雪がされていない交差点は、車両からの視界が悪く大変危険であるため、交差点部分には雪を置かない、交差点45度部分の丁寧な除雪が必要と思われるがどうか。

答 交差点の見通し確保の点からも、早めの排雪作業を実施していく。

問 雪押し場を台帳化し、税の軽減をした場合を算定し、国や県に助成を訴えるべきだと思いがどうか。

答 間口除雪をするためにも雪押し場の確保は重要であり、地域の区長に任せるだけでなく、税の軽減や援助などを検討していきたい。

花笠高原荘と徳良湖温泉をどう支えるのか？

市長…運営・対話・整理の観点から安定した施設経営を目指す



和田 哲 議員

もっとたくさんの人が訪れる徳良湖にしたいな～



花笠高原荘の今後

問 公共性と企業性を併せ持つ第3セクターは、地域において住民の暮らしを支える事業を行う重要な役割を担っている。だが、経営が著しく悪化した場合には、自治体の財政に深刻な影響を及ぼす可能性がある。花笠高原荘について、経営安定化に向けた取り組みはどう行うのか。

答 花笠高原荘検討検証委員会からの提言を真摯に受け止めながら、施設の管理運営について方向性を見出したいと考えている。

問 地域において住民の暮らしを支える役割についてはどうか。

花笠の湯の今後

問 消費税率が8%に引き上げとなった時には、利用料金の据え置きを行った。今後、消費税率が10%になった際の利用料金については、どのように対応するのか。

答 消費税率10%への引き上げにともなう料金体系の見直しは、やむを得ないと考えている。経営安定化に取り組みながら、さらに住民の暮らしに寄り添える施設を目指し、可能な限り利用しやすい料金を設定したい。

問 指定管理者が運営を行いやすい条例の見直しが必要と思われるがどうか。

答 課題の洗い出しを行いながら、条例改正についても検討していきたい。

子供たちの力が未来をつくる

問 子供たちが将来的に地元に残っても離れても、ふるさとを応援したくなるような地元愛を育てる教育はどう進めるのか。

答 課題の洗い出しを行いながら、条例改正についても検討していきたい。



長根山で総合学習

ふるさと愛を育む教育は、今年度の尾花沢市の学校教育構想の重点のひとつにあげており、各地域の伝統芸能や地域行事に積極的に参加する子供たちを育てる教育を推進している。

問 今年度は、各小中学校における「特色ある学校経営」に対する事業費を増額し、ふるさと愛を育む教育の充実を図っていききたい。

マイクロプラスチックごみ対策を

市長…重要性をさらに周知していく



徳良湖クリーン作戦

問 海洋汚染の原因物質としてマイクロプラスチックごみの周知と対策はどうしているか。

答 毎年春・秋の2回、市民一斉クリーン作戦を実施している。ごみを下流に流さず食い止めることの重要性和、ごみの分別適正処理、不法投棄防止の重要性をさらに周知していく。

防災・減災に女性の参加を

問 防災・減災に関する各種事業の男女共同参画状況はどうなっているか。

答 尾花沢市防災会議のうち、女性委員は尾花沢地区婦人会からとなっている。

問 今後、女性参加の推進はどうか。

答 防災分野における意思決定や各種事業の実施に、男女共同参画の視点が防災・減災の基盤のひとつになると考えている。

ペット愛護からのまちづくり

問 ペットに関する困り事、近隣トラブル防止や動物愛護のためにルール作りが必要ではないか。

答 ペットに関する条例はない。地域社会のルールを守り、飼育している動物が地域の一員として受け入れられる行動や、人と動物の共生社会を築いていく努力が求められている。

前立腺がん検診

問 前立腺がん検診の受診率をあげるためには、検査費の助成が必要ではないか。

小関 英子 議員

健康第一！
安全第一！



1億8千万円の未収金をどうする

市長…適正な債権管理を行い収納率を上げていく

市税、国民健康保険税などの公共料金の未収金

問 平成29年度決算における収入未済額は1億8千万円に上る。計画的に回収に努め、一方で生活困窮者や多重債務者には生活再建に向けて助言を行うことが必要である。現在、各担当課で行っている徴収を、市として一括管理するべきである。適切に徴収を進めるため、各課を越えた債権管理チームを作ってはどうか。

答 尾花沢市では職員数が少なく、限られた人材でさまざまな仕事をこなしており、このなかで徴収チームを作ることは難しいと考える。

問 担当者がバラバラに管理している滞納金は市として一括管理すべき。債権台帳を作成するべきではないか。

答 台帳作成を考えていきたい。

問 債権管理条例制定を視野に入れて準備を進めてはどうか。

答 債権管理条例は必要ないと考えている。



星川 睦子 議員

雪降り牛ブランドの基準

問 飼育期間は70日を基準としているため、飼育コストがかさみ、回転率が悪いという課題を抱えている。畜産農家の収入を確保し、生活を守るのが行政の役目である。課題解決にどう取り組む考えか。

答 ブランドの基準については、尾花沢牛振興協議会が定めていることである。よく相談していく。



牛肉まつり

ご支援ありがとうございました。



病児・病後児保育と小児科医の誘致を！

市長…先進事例を参考に検討したい

問 市長選挙の公約、病児・病後児保育施設整備と現在の検討状況はどうか。

答 女性の就業意識の高まりや、働きながら子育てをする保護者の増加にともないニーズが高く、セーフティネットとしても重要な役割を果たすものと認識している。市保育施設保護者会連絡協議会においても、サービスの提供を強く要望されている。課題を整理しながら実施に向けて検討している。利用者の利便性を考えれば「市内への開設」に優先的に取り組んでいく必要があると考える。

問 おもたか保育園の移転改築を検討するにあたり、病児・病後児保育を設置してはどうか。

答 尾花沢市公立保育所のあり方検討委員会において、おもたか保育園については移転改築が望ましいなどの提言を含め、今後の市全体の保育のあり方についてさまざまな議論がなされ、一定の方向性が示された。民間事業所も含め、保育園の運営・整備について再度検討する必要がある。病児・病後児保育をおもたか保育園に設置するののも一つの案と考える。引き続き、設置個所、運営体制、受け入れ基準の課題を整理しながら、実施に向け取り組んでいく。

問 小児科医の誘致と市内開業医誘致を積極的に取り組んでどうか。

答 子育て日本一を目指す本市において、安

問 高齢者がいつでも集える場所として、宮沢地区では、高齢者ふれあい交流サロンの整備を進めている。他の4地区でも既存施設の活用も含め設置してはどうか。

答 宮沢地区旧高橋保育園は南東側部分を撤去し、トイレを改修。避難所でもあることから冷暖房

問 高齢者の健康づくりや認知症予防の一環として、麻雀や将棋大会を市長杯として行っているかどうか。

答 なかよしお茶のみ会の協力のもと、平成30年度は53地区37団体で合計101回開催された。健康麻雀大会や将棋大会などの声があれば大いに歓迎したい。今後高齢者の居場所づくりを進めるにあたり、地域住民が主体となることを主眼としながら、未永く継続して支援したい。



加藤 克彦 議員

小児科医を誘致したいなあ



花笠高原荘の御所の湯を存続すべきではないか？

市長…これからも鶴子地区の方々と話し合いを重ねたい

問 花笠高原荘の「御所の湯」の存続を望む鶴子地区の要望にどのように対応していく考えか。9月定例会をめぐり方向性を出すとかが、間に合うのか。

答 市では検証検討委員会からの提言も真摯に受け止めながら、花笠高原施設の活性化について地域が主体となる関わりも含め、地域の代表の方々と先進地の視察を行いながら話し合いを行っている。

問 改修費用については10ヶ年の年次計画を立てて改修すれば年間の負担は少なく済むのではないか。

答 10ヶ年計画とすれば、単年度費用も抑制される。機械設備関係は、単年度での対応が必要となる部分もある。報告書の内容を精査しながら、利用者の安全確保の観点から、緊急度の高いものを優先するなどして対応していきたい。

問 鶴子地区にはスキー場やグラウンド、御所山など様々な資源がある。これらを総合的に活用すべきではないか。

答 鶴子地区の方々も地域の活性化などについても話し合いを重ねていきたい。

問 県及び県警本部に対して、常盤駐在所の存続を再度要望する考えはないのか。

答 今年2月の話し合いでは、常盤駐在所の統合計画は避けることはできないとのことだったので、常盤地区区長会から、統合後の安全・安心の確保に向けた要望書を提出した。これに対して県警本部からも、常盤地区担当警察官の配置によるパトロールと家庭巡回、パトカーの継続配備、常盤地区公民館を警察官立ち寄り所として位置付けること、また地域の方々と意見交換を行うなど、



花笠高原荘

統合後も引き続き地域の安全確保に努めていくとの話し合いがなされた。



奥山 格 議員

日中お客さんが立ち寄り休憩できる施設が鶴子に必要では？

